

カリセン

つうしん
通信 NO.141

京都市総合教育センター

カリキュラム開発支援センター

子どもに届く確かな授業をめざして！
明日の授業づくりをサポートします



令和7年2月号

カリセンでは、^{カリキュラム}教育課程の開発と研修を、支援しています。

周年記念誌

ご提供依頼へのご協力ありがとうございました！



11月に各校園に「周年記念誌」のご提供依頼をしたところ、約70校園からこれまでに作成された記念誌を送っていただきました。

本当にありがとうございました。京都市の貴重な教育資料として整理・保存させていただきます。

来年度以降、皆様にも手に取って見ていただけるような企画を考えているところです。

なお、周年記念誌は随時受け付けておりますので、今後も、作成されたり見つかったりした場合には、カリセンの方へも一部送っていただけるとありがたいです。



こんな本もあります



「京都 学校物語」
京都市教育委員会
京都市学校歴史博物館

歴史探訪・京の学校
我が国の近代教育の魁
京都市学校歴史博物館



京都の学校社会史
小林昌代



マンガで知る

- ・未来への学び①～③
- ・教師の学び①～③
- ・デジタルの学び

前田康裕・文とマンガ さくら社

シリーズだけど...

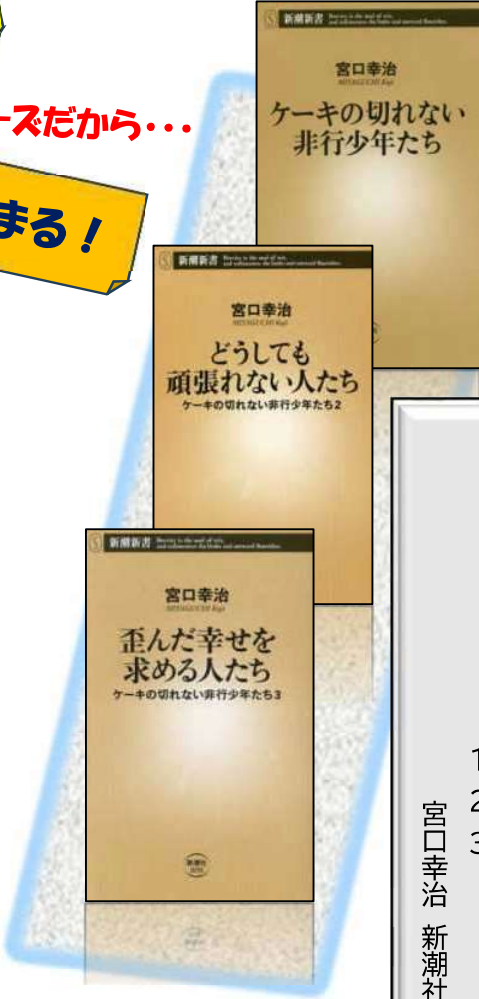
どの本から読んでもOK

シリーズだから...

広がり、深まる!

事務職員だけでなく
管理職・全教職員に読んで欲しい!

学校事務ベーシック①～④ 学事出版



ケーキの切れない非行少年たち
1 2 3
宮口幸治 新潮社

学力を伸ばす 立方体が描けない子の

同じ著者のこんな本もあります。

教育雑誌の紹介

「生徒指導 2024.12月号

特集:これからの時代の「部活動と生徒指導」

◆学校における部活動の意義

—生徒指導との関連性— …神谷拓

教育課程と課外活動(部活動)を往還するような生徒指導について

◆部活動の地域移行の現状と課題 …柳沢和雄

部活動の地域移行をめぐる議論の経緯や方向性及び今後の課題を解説

◆部活動における「いじめ」・「不適切指導」 …武田さち子

なぜ起きやすいか・SOSを受け止める体制づくり・熊本市の取組

◆子どもたちとどうつながるのか

—かかわりを模索し続けた経験を通して— …山本武輝

◆持続可能な部活動を目指して

—コロナ禍でのICTを活用した地域移行— …掛橋賢議

◆主体性を育む部活動改革

—「考える習慣」と「自己選択」の機会をつくる— …大森健史

競技経験をもとにした指導「日曜休日」「年休制度」の導入

◆究極のアクティブラーニングを実践する生徒たちと共に学ぶ

—生徒・学生時代の縁を大切に— …荒井賢一

◆巻頭インタビュー 子どもたちが「考えること」をあきらめないために

◆特別企画:事務職員が参画する、一人ひとりに寄り添う学校づくり

学校の居場所「開晴ほっとる一む」開設を通して(京都市立開晴小中学校)

背景と目的・開設にあたっての取組・開設後の様子・取組を通しての教訓



「授業力&学級経営力」



授業力&学級経営力[2024年 7月]

「言い換え」の技術

- ・ネガポジ「言い換え」一覧
- ・タイプ別 子どもの隠れたよさを引き出す「言い換え」事例30
- ・通知表所見の「言い換え」文例集
- ・教師の観察眼…すごい先生は、どうやって子どもの隠れた良さを見つけているのか



[2023. 7月]

- ・子どもを褒める励ます文例
- ・3観点の評価に対応



教育雑誌『教育音楽 冬号』の紹介

『教育音楽』は、これまで小学校版と中、高校版でしたが、2024年12月から、それぞれを合わせて1冊になりました。また、これまでの「月刊誌」から「季刊誌」となりました。今回は、12月に発行された「冬号」を紹介します。



特集Ⅰ：音楽の授業が人生にもたらしたもの

★一般の方を対象として実施されたアンケート調査から、結果の分析・考察がなされています。

- ・音楽授業の印象
- ・現在の音楽との関りについて
- ・音楽科教育について

★考察：国立音楽大学 津田正之教授

座談会：岩井智宏・後藤俊哉・佐藤太一・島田聡

特集Ⅱ：最高の卒業合唱を響かせたい！

限られた時間の中で、いかに仕上げるか。

卒業式までの歌唱指導の進め方・指導のスケジュール、

アンケートに寄せられたお悩み解決方法などが紹介されています。

★人気卒業ソングランキング2025

小学校卒業生・在校生・全校合唱…各 BEST5

中学校卒業生・在校生・全校合唱…各 BEST5

「楽譜資料」に掲載されている楽曲は、
〈教育音楽〉YouTubeチャンネルで視聴できます。

教育雑誌『教職研修』2月号の紹介

【巻頭インタビュー】差別のない社会を学校から…安田菜津紀(フォトジャーナリスト)

【特集 1】いじめ重大事態で求められる対応

【特集 2】なぜ、この保護者はクレームとなったのか？

ここでは、特集2を紹介します。

1 保護者アンケート「私はこれで学校にモヤモヤしました」

Q:学校とのやりとりや学校の対応の中で、学校に対してモヤモヤした(不信感を抱いた、怒りを感じた等)ケースがあれば具体的に教えてください。

その時、学校にどんな言葉や対応を求めていたのかを教えてください。

・担任の声かけや指導に傷つく子ども…学校の回答は「よい先生」←担任への指導をしてほしかった

・あだ名を呼び合うトラブルでの対応…丁寧な聞き取りをして、指導をしてほしかった 等

2 元モンペ(?)教員が考える、保護者の気持ち…林 真未

3 「学校が保護者からどう見えているのか」そこから始めよう…新保元康

・学校を保護者目線で見ると…力みの少ない学校へ

4 なぜ「保護者は学校に協力するのが当たり前」だと学校は思っているのか?…大塚玲子

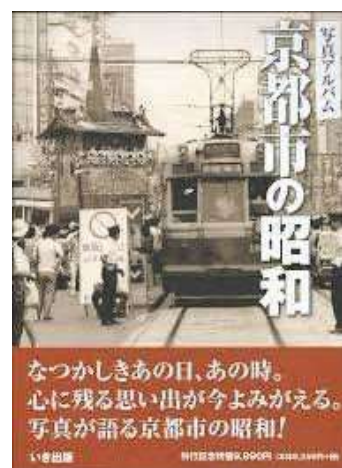
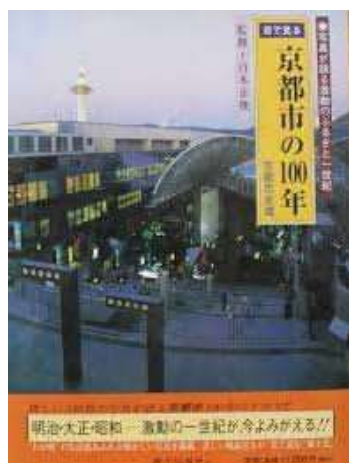
・保護者は学校運営において意見を反映する場が少なく、当事者意識をもちづらい 等

5 公立学校とカスハラ…小野田正利

1・2月の企画展 特設展「京都の歴史 昭和」のご紹介

令和の日本。世界中の多くの人々が京都を訪れており、伝統文化と出会い感動しておられる姿が、メディアを通して日々発信されています。

「令和」の前の「平成」そして「昭和」。元号ごとに社会や町並みに時代の変化が感じられます。昭和の京都を写真で眺めながら変わりゆく懐かしい姿と出会ってみてはいかがでしょうか。



令和7年1月7日(火)～2月28日(金) 総合教育センター3階 エレベーターホール前

企画展

同時開催しています！

1. デジタルならではの強みを生かした学習活動の充実
2. デジタル社会の善き担い手の育成
3. 誰一人取り残さない、個に応じた指導・支援の充実
4. 校務のDX化

特設展 「京都を学ぶ」

～「伝統と文化を受け継ぎ、
次代と自らの未来を創造する子どもの育成」をめざして～
「京都の歴史《昭和～今》」写真集を中心に

■カリセン開室時間(通常)

□月曜日・木曜日…午前9時～午後5時15分

□火曜日・水曜日・金曜日…午前9時～午後8時15分

□土曜日・日曜日・祝日は閉室